

議案議決結果一覧表

○……賛成 ×……反対 △……退席

議案番号 (採決順)	議案名	議決結果	会派等の賛否								
			やまぶき会 11人	公明党 7人	自民無所属クラブ 5人	日本共産党 4人	民主党 3人	プロジェクト川越21 2人	市民フォーラム 2人	無会派 みんなの党 1人	無所属 1人
請願1	民法の改正による個人保証の原則的廃止を求める請願書	継続審査	—	—	—	—	—	—	—	—	—
請願2	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10	川越市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11	川越市災害派遣手当等の額に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案12	川越市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案13	川越市民生委員定数条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14	川越市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案15	川越市青少年問題協議会条例(全部改正)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案16	川越市ふれあい歯科診療所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案17	川越市衛生関係事務手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18	川越市食品衛生法施行条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19	川越市保健所条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案20	川越駅東口公共地下駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案21	川越市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案22	川越市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案23	川越市都市景観条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案24	川越市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案25	川越市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案26	川越都市計画高階第一土地区画整理事業施行規程を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案27	川越市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28	川越市市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29	川越市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案30	川越市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案31	川越市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案32	川越市社会教育委員条例(全部改正)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案33	川越市立学校費負担教職員の職務に専念する義務の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34	川越市立川越高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	×	×	○	※1	○	○
議案35	包括外部監査契約	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36	訴えの提起	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37	訴えの提起	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38	川越市道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案39	平成25年度川越市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40	平成25年度川越市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案41	平成25年度川越市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42	平成25年度川越市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43	平成26年度川越市一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案44	平成26年度川越市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45	平成26年度川越市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	※2	○	○
議案46	平成26年度川越市歯科診療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案47	平成26年度川越市介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48	平成26年度川越市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49	平成26年度川越市川越駅東口公共地下駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案50	平成26年度川越市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案51	平成26年度川越市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案52	平成26年度川越市公共下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
同意1	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること<山田範男氏>	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案1	川越市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書1	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書2	平成の「豪雪被害」(2月14日から15日)に対する被災者救済を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 議長は採決に加わっておりません ※1…賛成1人、反対1人 ※2…賛成1人、退席1人

本会議における

主な代表質疑・議案質疑

〔質疑をした会派名〕

今定例会では延べ27名の議員が質疑を行いました。

【インターネット生・録画放送】

川越市議会ホームページで
ご覧になれます。

【今定例会の会議録】

図書館等では5月下旬頃、
議会HPでは6月上旬頃、
閲覧できます。

【閲覧場所】

図書館／市民センター／議事
事務局／情報公開窓口（東庁舎）

会議録の閲覧等

代表質疑

市政・教育行政方針について

〔日本共産党〕〔自民無所属クラブ〕〔民主党〕

〔P川越21〕〔市民フォーラム〕〔公明党〕〔やまぶき会〕

問 昨年の12月市議会は20議案が廃案に、23人の議員の一般質問ができなくなったが市民と市議会への市長の考えは。

答 私は、市長として12月市議会について責任を痛感している。また、議員が一般質問できなかった点についても、市長として責任を痛感している。

問 公契約条例について市長の見解を問う。

答 公契約条例については、現時点で、中立的な立場である。現在、公共調達

どを踏まえて、新たな防災対策について何か考えはあるか。

答 昨今の気象変動による、これまでの想定を超える災害に対して、想定外をなくす災害対策や、具体的な減災目標の設定により、その被害の軽減に努めていきたいと考えている。

今後、埼玉県とも歩調を合わせ、対策を講じていきたい。

問 オリンピックを6年後に控え、どのような形で子どもたちへの教育に活かしていくのか。

答 スポーツへの興味関心を高め、夢や希望を抱いた子どもたちが、自己を見つめ直し、日本人としての自覚を高め、社会で活躍することができるよう、オリンピックの機会を教育に活かしていきたいと考えている。

問 川合市長が川越市長に就任されてから丸5年が経過したが、平成26年度予算が成立すると市債残高（市の借金）は、約1

53億円も増え、964億円に達し、次世代に大きな負債を負わせることになる。加えて、市職員が起こした事件事故による懲戒処分が5年間で14件にも及ぶなど川合市長のガバナンス能力に大きな疑問が生じている。また、二元代表として市民から負託を受けている市議会との信頼関係を5年間かけても構築できていないと答弁する市長の対話能力は資質を欠いている。この様な状況下で、川越市民にとって川合市長が川越市長であることの必要性をどのように考えるのか。

2月3日誰と何の目的で会い、誘ったのは誰か。

答 私から誘い、市政に関して意見交換を行ったものである。

問 市長は「特別秘書については、今後、適任者がいれば任命したい」と答えているが、前任者に「今月末で辞めてもらいたい」と要求し辞職した。川越市には適任者はいるが、誰も受ける人がいないのではないか。この発言に意見があれば述べてもらいたい。

答 私としては、特に意見はない。

問 大流行の恐れのある新型インフルエンザの対策。

答 関係部署による対策庁内推進会議等を設置。今後において対策の詳細な検討を進め、平成26年度のできるだけ早い時期に本市行動計画を作成する予定である。

問 大災害時のトリアージについて。

答 傷病者の治療優先順位を決定するトリアージの重要性は認識している。

今後さらに防災訓練等を通じ、その意義等に関し、市民への普及啓発の充実を図ってまいりたい。

問 教職員の資質としての人間性の向上をどう進めるか。

答 子ども達の人格形成に関わる者として必要な、豊かな人間性や社会性、常識と教養等、総合的な人間力を身に付ける為の教職員研修を、今後も企画・実施していく。

問 保育所待機児童の対策について伺う。

答 待機児童対策については、平成26年度には、5施設の保育所整備により、340人の定員を増やす予定である。また、今後の保育需要を的確に捉え、子ども・子育て支援新制度において予定される小規模保育事業及び幼稚園との連携による事業等を実施し、待機児童の減少を進めていく。

問 学力向上プランの策定について伺う。

答 児童生徒の「確かな学

（次ページへ）

（次ページへ）